



安定したチーム力で準優勝を勝ち取った山田中野球部

# Sports News

スポーツニュース

## 若き選手たちの活躍

### 中学校新人軟式野球大会 山田中野球部が準優勝

山田中野球部は、10月19・20日に盛岡市で行われた第27回県中学校新人軟式野球大会で準優勝に輝きました。大会には県内14地区で勝ち上がった、3年生引退後の1・2年生でつくる16の新人チームが出場。宮古地区代表で4年ぶり10回目出場の山田中は、1回戦から準決勝までの3試合で2人の投手の活躍を守備陣がよく支えて完封勝利を重ねましたが、決勝戦で初出場の高田東中（気仙地区）の強力な打線につかまり、2-4のスコアで惜敗しました。

初回と3回の失点で3点をリードされた決勝戦、5回表に山屋和真くん（2年）のレフト前ヒットで1点を返したものの、6回表の1死二、三塁の最大のチャンスで得点できず、涙をのみました。主将の山根大弥くん（2年）は「これまでにない競り合った試合で、あきらめずに戦ったが及ばなかった。攻守共に宮古地区一番のチームを作り、来年の県の中学校総合体育大会では絶対に優勝したい」と意気込んでいます。

### 楽天イーグルスジュニアチーム 大沢小・鈴木日向くんを選抜

大沢小6年の鈴木日向くんが、県内から唯一、楽天イーグルスジュニアチームに選抜されるという快挙を成し遂げました。

これは、スポーツ少年団での野球大会において、ジュニアチームの関係者に声を掛けられたことからセレクションに挑戦。ピッチングやチーム戦な

どのテストを突破し、見事選ばれたものです。楽天ジュニアには、鈴木くんを含め18人が選抜されていますが、鈴木くんはチームについて「セレクションで仲良くなったので不安はない」と話します。

10月14日には、初めての対外試合となる仙台市選抜チームとの対戦があり、鈴木くんは3回から2イニング、6人中5人を三振に切る活躍を見せました。

今後は、プロ野球12球団ジュニアトーナメントに出場する予定という鈴木くん。「自分ががんばれるのも、監督、コーチ、チームメイト、そして地域の皆さんのおかげ。将来はプロ野球選手になって活躍したい」と目を輝かせていました。



鈴木日向くん

◎山田中柔道部大健闘  
11月9日から10日にかけて行われた県柔道新人大会で、山田中柔道部が大健闘しました。女子団体が32チームのトーナメント戦で準優勝となったのははじめ、個人戦では女子52kg級の木下葵さん（山田中2年）が優勝の栄光に輝き、男子66kg級の福士悠太くん（同2年）と女子40kg級の中村なおさん（同1年）がそれぞれ2位と奮闘。女子団体代表の木下さんは「力を出し切ったが、声出しなどで雰囲気づくりが必要だと思った。次の中総体では優勝を

狙いたい」と次の目標と課題を語りました。また、自身の個人戦優勝については「とてもうれしい。一戦一戦確実な試合をすることを心掛けた。ここまで育て、支えてくれた周囲の人に感謝したい」と喜びました。個人2位の活躍を見せた福士くんは「練習の成果が出せたのでうれしい反面、優勝できず悔しい」とし、同じく個人2位の中村さんも「緊張で体が硬くなつてしまい、技が掛けられなかった。優勝を取り逃して心残り」と悔しさをにじませました。互いに「次は優勝」と意気込みます。

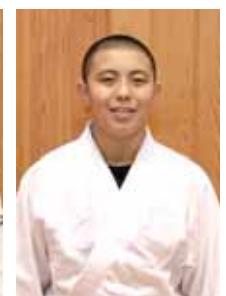
山田中柔道部女子団体。下段左から中村なお、木下葵、甲斐谷こころ（2年）。上段左から白野虹歩（1年）、浦川玲菜（1年）  
《敬省略》



中村なおさん



木下葵さん



福士悠太くん